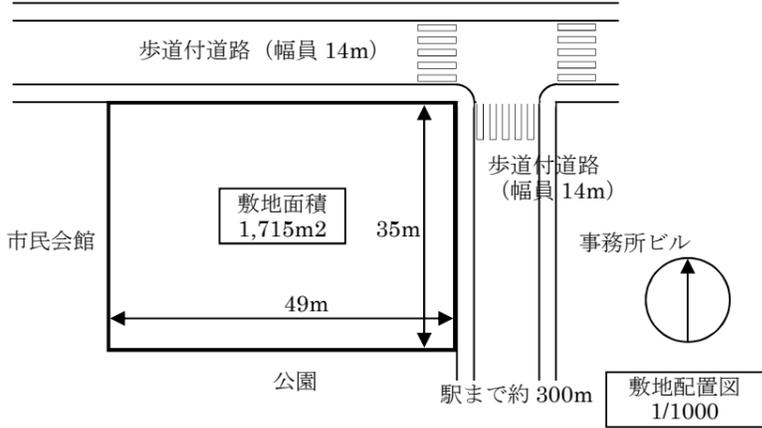


I. 設計条件

この課題は、ある地方都市の駅から約 300m の敷地において、地域の活性化をめざすコミュニティセンターを計画するものである。新設するコミュニティセンターは、地域の待機児童問題や高齢者の健康志向のニーズに応えるとともに、市内でとれるレアメタル記念館を併設し「レアメタルのまち」として PR するための拠点となることが求められている。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。歩道の切り開きは、1 箇所当たり 6m までできるものとする。
- 敷地は近隣商業地域及び準防火地域にあり、建ぺい率の限度は 80% (角地加算含む) 容積率の限度は 300% とする。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- 地下水及び積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- 構造、階数等
地上 2 階建ての建物とし、構造形式は自由とする。
- 床面積の合計
床面積の合計は、1,700m² 以上、2,100m² 以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室
下表の室は、すべて計画する。

| 部門 | 室名 | 特記事項 | 床面積 |
|-------|-----------|---------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 記念館部門 | メタルショップ | ・様々なメタルグッズを販売し、レジを設ける ・通路は 1m 以上を確保し、陳列棚をレイアウトする。 ・メタル広場に面する。 | 約 100m ² |
| | メタルミュージアム | ・レアメタルの展示を行う。レイアウトは描かなくてよい。 ・事務室兼倉庫を設ける。 | 約 300m ² |
| 健康部門 | トレーニングルーム | ・マシンによるトレーニングを行う。 ・4m ² /人とし、15 人程度が利用できる広さとする。 | 適宜 |
| | ダンススタジオ | ・ダンスやヨガ・エアロビクスを行う。 ・3m ² /人とし、20 名程度が利用できる広さとする。 | |
| | 更衣室 | ・健康部門利用の更衣室として男女別に設ける。 ・付属して浴室(男女各 25m ² 程度)を設ける。 | |
| | 相談室 | ・レッスンの相談等に使う。 | |
| | インストラクター室 | ・受付カウンターを設ける。 ・ダンススタジオに直接出入りできる。 | |
| 保育部門 | 保育室 | ・4m ² /人とし、10 名程度が利用できる広さとする。 | 適宜 |
| | 遊戯室 | ・保育室と同じ面積とし、保育室に隣接する。 | |
| | 玄関 | ・ガラスドアで共用部と仕切り、玄関を設ける。 | |
| | 職員室 | ・スタッフ 4 名用の室とし、受付カウンターを設ける。 | |
| 集会部門 | 会議室 | ・天井高さは 3m 以上とし、2 室に分割利用可能とする。 | 約 200m ² |
| | 研修室 | ・様々な研修に利用する。 | 約 50m ² |
| 共用その他 | エントランスホール | ・風除室を設ける。 ・上部に 70m ² 以上の吹き抜けを設ける。 | |
| | ラウンジ | ・明るく開放的な空間とし、景観に配慮する。 | |
| | 事務室 | ・エントランスホールに面して案内カウンターを設ける。 ・5 人用の事務スペースを設ける。 | |
| | 防災倉庫 | ・100m ³ 以上の容量を確保する。 | |
| | 設備スペース | ・その他、各自が採用した設備計画に応じて、室外機置場等を計画する。 | |
| | | ・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。 | |

3. その他の施設等

- 駐車場は平面駐車とし、車いす使用者用として 1 台分、サービス用として 1 台分を設ける。一般の駐車場は、市民会館が保有する駐車サービスを利用するものとして考慮しなくてよい。
- メタル広場(約 200m² とし庇及びピロティ下部は含まず)を設け、駅前立地のにぎやかなイメージを演出するため、モニュメント(3m 角、高さ 5m 程度)を設置する。
- 保育部門用に園庭(100m² 以上、庇ピロティ下部可)を 1 階もしくは 2 階に設ける。
- 駐輪場は、平面駐輪とし、10 台分以上(2.0mx0.5m)を設ける。
- (1)~(4)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物はバリアフリー、セキュリティに配慮し、主要な室については、自然採光、通風及び日射遮蔽に配慮した計画とする。
 - 各部門について適切にゾーニングした計画とするとともに、明快な動線計画とし、かつ避難等にも配慮する。
 - 敷地の周辺環境に配慮すると共に環境負荷低減に配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに経済性にも配慮する。
 - 構造種別、架構形式及びスパン割を適切に計画する。
 - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
 - エレベーター等を適切に設ける。

II. 要求図書

答案用紙 I の定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙 I に記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。

| 図面及び縮尺 | 特記事項 |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 1 階平面図兼配置図 1/200 | ① 1 階平面図兼配置図及び 2 階平面図に、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 採用した構造種別、架構形式及びスパン割に応じて必要となる構造要素(凡例の空欄に記入し、図示する。) ニ. 設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。) ヘ. 断面図の切断位置 ト. 要求室の床面積 チ. 記号等による上足エリアの明示 |
| (2) 2 階平面図 1/200 | ② 1 階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 駐車場(台数及び出入口を明示する。) ハ. 駐輪場(台数を明示する。) ニ. 通路、植栽等 ホ. メタル広場 |
| (3) 断面図 1/200 | ③ 2 階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 1 階の屋根、ひさし等となる部分 ロ. 居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路 |
| (4) 2 階梁伏図 1/200 | ① 切断位置は、エントランスホールの吹き抜け部分を含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1 階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。 |
| (5) 2 階梁伏図 1/200 | ① 2 階からの見下ろし図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号、部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使用した場合の断面寸法は、H-○×○のように記入する。 |

2. 面積表(答案用紙 I に記入)

- 地上 1、2 階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙 II に記入)

- 建築計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築物へのアプローチについて、その位置とした理由及び動線計画において工夫した点
 - 各部門配置について、その位置とした理由及び動線計画において工夫した点
 - 周辺環境に対して配慮したこととその理由
- 構造計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
 - 会議室の構造について、工夫したこと
- 設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 給水方式とその採用理由
 - 受電装置について、配置場所とその位置とした理由
 - 空調方式について、使用した方式とその理由
- 環境負荷低減について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 建築計画として環境負荷低減に工夫した点(3 点以上明示する)
 - 設備計画として環境負荷低減に工夫した点(3 点以上明示する)

4. 図面レイアウト(製図試験.com 課題のみの指示で本試験では解答用紙 I に記載)



添削受講生は、図面、要点、エスキースを同封して下記住所までお送り下さい。
 〆切は 7 月 6 日(月) 消印有効。遅れても必ず添削しますが、ペース配分の目標としてください。
 添削は約 1 週間程度でご返却します。
 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲 1-12-24 イーグレット 2F 製図試験.com 事務局
 送付前に図面は必ずコピーを取ったのち、その原本を 4 つ折りして角 2 号封筒を使用してください。速達、書留、宅急便にする必要はありません。
 ※この問題文については著作権フリーです。自主勉強会等ご自由にお使いください。

| 試験場 | 受験番号 | 氏名 |
|-----|------|----|
| | | |



(1) 建築計画について、次の要点等を具体的に記述する。
なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 建築物へのアプローチについて、その位置とした理由及び動線計画において工夫したこと

| |
|--|
| |
| |
| |
| |

② 各部門配置について、その位置とした理由及び動線計画において工夫した点

| |
|--|
| |
| |
| |
| |

③ 周辺環境に対して配慮したこととその理由

| |
|--|
| |
| |
| |
| |

(2) 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由

| |
|--|
| |
| |
| |
| |

② 会議室の構造について、工夫したこと

| |
|--|
| |
| |
| |
| |

(3) 設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 給水方式とその採用理由

| |
|-----|
| 方式: |
| |
| |

② 受電装置について、配置場所とその位置とした理由

| |
|-------|
| 配置場所: |
| |
| |

③ 空調方式について、使用した方式とその理由

| |
|-----|
| 方式: |
| |
| |
| |

(4) 環境負荷低減について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

① 建築計画として環境負荷低減に工夫した点(3点以上明示する)

| |
|--|
| |
| |
| |
| |

② 設備計画として環境負荷低減に工夫した点(3点以上明示する)

| |
|--|
| |
| |
| |
| |